

# 令和7年度 第12回議会報告会

## 対応報告書

提出日:令和8年4月6日

令和8年2月23日開催の議会報告会報告書に対する対応結果等は、以下のとおりである。

### ○市当局に関すること

番号	質問内容	対応結果
1	<b>問</b> 若者の働く場所づくり及び一度市外に出た若者が帰ってくる場所づくりについて、市としてどのように考えているか。	(戦略情報課、地域創生課) 若者が帰ってくる居場所づくりについては、基本構想に基づき「若い世代に評価されるまちづくり」「人口減少に適応したまちづくり」が必要であると考えている。 ふるさと就職推進センターを設置しているほか、地元企業にご協力いただき、中学生を対象にPR事業等を実施し、将来の市内就職に向けた意識の醸成に努めている。 企業立地促進補助金により市内就業場所の確保につなげ、未来創生就業定住促進助成金により就業奨励や奨学金償還支援等を実施し、若者の就業初期を支援している。
2	<b>問</b> 本市の子育て予算及び子育て環境は、他自治体と比較しても十分とは言い難いとの声がある。現在の予算配分や施策の考え方、今後の見直しの方向性はどうか。	(こども家庭課、保育教育課) 本市の子育て支援は、経済的援助と環境整備の両面から、他自治体と比較して同等以上の水準を維持している。 経済的支援については、不妊治療費の助成や「ワクワク子育て応援金」の支給、市独自の「新生児定額給付金」に加

		<p>え、妊婦健診の公費助成や18歳までの医療費無償化など、妊娠期から切れ目ない施策を展開している。</p> <p>子育て環境の予算配分については、市立認定こども園からの要望に基づき、必要な予算を確実に措置している。特筆すべきは、放課後児童クラブやファミリー・サポート・センターの利用料であり、これらは県内他市町と比較しても安価に設定され、保護者の経済的負担の軽減に大きく寄与している。</p> <p>また、ソフト面の支援として「こどもひろば」を運営し、親子の居場所づくりや専門職による育児相談、各種イベントの実施など、孤立させない子育て支援を推進している。今後も限られた財源の中で、本市の強みを活かした効率的かつ効果的な予算配分に努め、さらなる環境改善を図る考えである。</p>
3	<p><b>問</b> 出産・子育てに対する補助が十分とは感じられない。子育て世代が安心して出産・子育てできるよう、更なる支援の充実を求める。</p>	<p>(こども家庭課)</p> <p>本市では、子育て世代が安心して生活できるよう、経済的支援と相談体制の両面から施策の充実を図っている。</p> <p>経済的支援については、市独自の「新生児定額給付金」をはじめ、不妊治療費の助成、妊娠・出産時の「ワクワク子育て応援金」の支給、さらには妊婦健診の公費助成や18歳までの医療費無償化など、妊娠期から切れ目ない支援を展開している。</p> <p>また、相談体制の強化として、「こども家庭センター」を核に、子育て支援センターや「こどもひろば」等へ専門職</p>

		<p>を配置し、身近な場所でいつでも相談できる環境を整備している。</p> <p>令和7年度からは、支援情報を網羅した「子育てガイドブック」を作成し、配布しているほか、ホームページでのデータ公開により、利便性を高めている。</p> <p>今後も他自治体の先進事例を積極的に調査・研究し、本市の特性に応じて更なる支援の充実を図っていく。</p>
4	<p><b>問</b> 農業委員の連絡先を窓口で尋ねた際に案内を受けられなかったとの声がある。個人情報に配慮しつつも、市民が相談先につながるよう、窓口対応の改善を検討すべきではないか。</p>	<p>(農林水産課)</p> <p>現在、農業委員 17 名、農地利用最適化推進委員 16 名の連絡先については、相談の圃場がある地区の委員を案内している。</p> <p>案内できなかった理由は不明であるが、委員にはそれぞれ担当地区があることから、相談したい農地の地区(字)がわかると、スムーズに案内することができる。</p> <p>今後も個人情報に配慮しつつ、迅速に的確な相談先につながるよう対応する。</p>
5	<p><b>問</b> 東かがわ P a y について、現在委託している事業者名は。</p>	<p>(地域創生課)</p> <p>システムは、フェリカポケットマーケティング株式会社に、運営は、サイテックアイ株式会社に委託している。</p>

6	<p><b>問</b> 東かがわP a yについて、還元率(30%・50%)などの仕組みが分かりにくく、レジで戸惑うことがあった。改善の必要があるのではないか。</p> <p>また、東かがわP a yについて、利用期間が分かりにくく、気付いた時には終了していた。丁寧な周知がもっと必要ではないか。</p>	<p>(地域創生課)</p> <p>市内中小規模店の支援も事業目的の一つとしているため、還元率(30%・50%)の違いを設けていることで操作に不便を掛ける部分もあるが、趣旨にご理解いただきたい。</p> <p>システムの操作改善については、ご意見等を参考に、費用対効果を勘案しながら随時行っている。</p> <p>周知については、市広報や自治会回覧板などにより周知に努める。</p> <p>利用者を対象に操作説明会を開催し、利用者が操作方法の理解を深められるよう努める。</p>
7	<p><b>問</b> 移住定住促進事業費について、約7,000万円が計上されていたが、どのような事業に、どのような内訳で執行したのか。</p>	<p>(地域創生課、都市整備課)</p> <p>令和7年度について、移住に係る事業として次の事業を実施した。</p> <p>若者住宅取得補助金、新婚世帯家賃助成金、結婚新生活支援事業補助金：5,010万円</p> <p>空き家リフォーム補助金、テレワーク等空き家改修事業補助金：1,450万円</p> <p>東京圏U J I ターン移住支援事業：520万円</p> <p>お試し暮らし滞在助成事業：18万円</p>

8	<p><b>問</b> 地域で教室等を行っている方からの要望に対し「予算がない」との回答が続き、講師料の面でも他自治体との差を感じるとの声がある。現場の声を把握し、地域活動支援のあり方を検討すべきではないか。</p>	<p>(長寿保健課)          介護予防に関する各種事業の単価は、他市の状況、様々な専門職の状況、介護予防以外の事業の専門職の状況、予算を勘案し決定している。</p>
9	<p><b>問</b> 教育委員会の会議は毎月開催されているが、ライブ中継もなく、会議録の掲載も実施後3～4か月ほどかかっている。問合せに対する回答もないとの声がある。現在の運用状況と、今後の改善方針はどうか。</p>	<p>(教育総務課)          教育委員会会議の中継は、非公開議案が含まれる場合があるため中継していない。会議録については、作業体制の見直し等により教育委員会会議で承認後、速やかな公開に努めている。          市ホームページへの問合せについては、確認後速やかに返答する。</p>
10	<p><b>問</b> 市公式アプリ内の「目安箱」について、意見を送っても「個別回答はしない」とされており、一方通行ではないかとの声がある。市民との双方向性を高める観点から、運用改善を検討すべきではないか。</p>	<p>(戦略情報課)          「目安箱」は、東かがわ市に暮らしていて気になったことや不安に感じる事、また市政に対しての意見などを、本人確認を要することなく自由に投稿できる機能である。返信を希望する場合は、事前にマイナンバーカードにより本人確認手続きをした上で、同アプリ内の「市への投稿」や「お問い合わせ」機能をご利用願う。</p>

11	<p><b>問</b> 本市の将来的な存続を見据え、企業誘致や若者の移住促進により、働く世代・納税者を増やしていく必要があるとの声がある。今後の方向性について、戦略的な検討を進めるべきではないか。</p>	<p>(地域創生課、戦略情報課)</p> <p>本市の目指すべき将来像を示す基本構想と、本市創生に向けた各分野の基本計画の整合を図り、人口減少対策と地域活性化に向けた基本計画と位置づけ、市民と行政が共有し、力をあわせてこれからの東かがわ市を築いていく総合戦略を令和7年3月に策定し、現在その取組を進めている。</p> <p>ふるさと就職推進センターを設置しているほか、地元企業にご協力いただき、中学生を対象にPR事業等を実施し、将来の市内就職に向けた意識の醸成に努めている。</p> <p>企業立地促進補助金により市内就業場所の確保につなげ、未来創生就業定住促進助成金により就業奨励や奨学金償還支援等を実施し、若者の就業初期を支援している。</p>
12	<p><b>問</b> 白鳥温泉周辺の桜について既存のベンチなども残しながら、市として保全やPRをしっかりと行ってほしい。</p>	<p>(地域創生課)</p> <p>既存のベンチを残し、また、隣接地での温浴施設再開予定事業者にも協力を仰ぎ、白鳥温泉周辺の桜の保全に努め、併せて広くPRも実施していく。</p>

13	<p><b>問</b> 白鳥病院の入院ベッド数が減少するなど今後の地域医療体制への不安がある。今後の対策として市はどう取り組んでいるか。</p>	<p>(長寿保健課)</p> <p>これまでも国や県に対して地域の医療体制の充実に向けて要望してきたほか、大川地区医師会や地域の医療機関とも連携を図ってきた。今後も引き続き、粘り強く国、県に対する要望や地域の医療機関等との連携を続け、白鳥病院の充実に関しても要望を続ける。</p>
14	<p><b>問</b> 新しい温水プールについて、利用料金が比較的安価で良い。一日ゆっくり過ごせるような施設になってほしい。</p>	<p>(生涯学習課)</p> <p>開業して1年9か月が経過し、市内外の多くの方の利用があり、終日利用される方も見受けられる。今後も利用者の皆様が、より快適に過ごすことができるよう指定管理者と連携を図りながら、適切な施設運営に努める。</p>
15	<p><b>問</b> 長く住んでいる市民が大切にされていると感じられるよう、移住者向けの補助制度だけでなく、長く住んでいる市民に対しても何らかの支援を行うべきではないか。</p>	<p>(地域創生課、戦略情報課)</p> <p>移住して来られる方への支援と長年この地を支えてくださっている市民の皆様への施策のバランスは、重要な視点であり、いずれかに偏るものではなく、地域の持続性を支える両輪と考え、十分配慮しながら施策を進める。</p>
16	<p><b>問</b> 全国的に海上での観光船・漁船等の事故が続いている。本市において、NPO法人観光船協会等が関わる事業について、JCI（日本小型船舶検査機構）の最新版基準に基づく安全管理・運用確認を行っているか。</p>	<p>(地域創生課)</p> <p>NPO法人観光船協会は市が所管する団体ではないが、当該協会に確認したところ、JCI（日本小型船舶検査機構）の最新版基準に基づく安全管理・運用は行っているとのことである。</p>